



Defense Intelligence Headquarters

我が国最大の情報機関

国家を守り、自分を磨く



防衛省情報本部

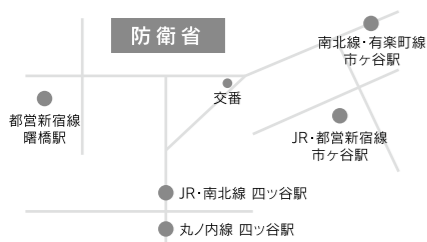
総務部 人事計画室 採用担当

〒162-8806

東京都新宿区市谷本村町5番1号

TEL 03-3268-3111 (代表) 内線31264

<http://www.mod.go.jp/dih/>



HP

このパンフレットには、「しかけ」があります。
興味ある方は是非チャレンジしてください。

防衛省情報本部

職員採用パンフレット 2025

世界とつながり日本を守る

2022年12月に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部は「電波情報、画像情報、人的情報、公開情報等の収集に加え、我が国の防衛における情報戦対応の中心的な役割を担う」とこととされました。

グローバルなパワーバランスの劇的な変化等、我が国を取り巻く安全保障環境は年々厳しさを増し、「情報」の重要性はますます高まってきている中、我々のインテリジェンスが我が国の平和と安全を保つカギとなります。

皆さんと一丸となって情報本部を発展させていきたいと思っています。

是非、情報本部の門をたたいてみてください。

情報本部長 空将

尾崎 義典

CONTENTS

- 01 メッセージ
- 02 目次
- 03 国際情勢とQ&A
- 05 情報本部の任務と活動
- 07 情報本部の組織
- 08 情報本部の事務官・技官として求める人物像
- 09 各部・通信所の紹介・職員のメッセージ
 - 総務部
 - 統合情報部
 - 計画部
 - 分析部
 - 画像・地理部
 - 電波部
 - 通信所
- 15 防衛省専門職員採用試験の概要
- 17 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の概要
- 19 国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）の概要
- 21 情報本部で得られる機会～国内外留学・在外公館出向～
- 23 ある技術職の一日
- 24 ある分析官の一日
- 25 若手職員アンケート
- 26 ワークライフバランスを支える制度
- 27 Q&A 採用担当がお答えします！
- 29 処遇関係
- 30 採用情報

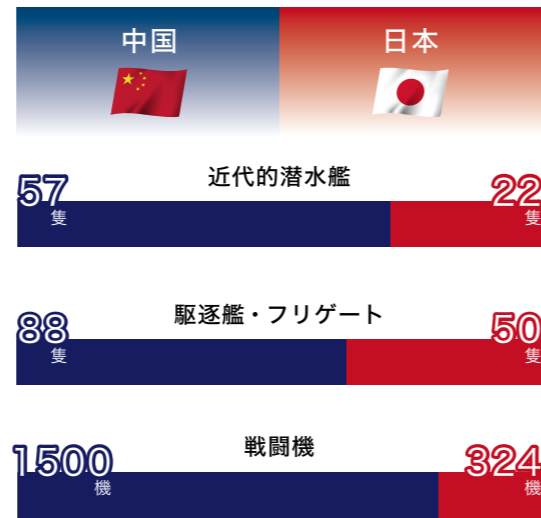
オールソースによるインテリジェンスを駆使して日本を守る。私たちはそのための仲間を求めています。

インテリジェンスとは… あらゆる情報源から得られる情報資料（インフォメーション）を収集、処理、分析した成果物（プロダクト）であり、判断・行動するために必要な知識

Q 今、日本の周辺で何が起きているか？

A 近隣諸国の『力による一方的な現状変更やその試み』に直面しています。

- 国内では**
 - ✓ 警察が犯罪行為を取り締まる
 - ✓ 犯罪行為には刑罰が科せられる
- 国際社会では**
 - ✓ 警察や国内裁判所のように強制的な執行力を持つ機関は存在しない
 - ✓ 国際連合安全保障理事会常任理事国のロシアがウクライナを侵略



Q 我々は何をするべきか？

A 令和4年12月16日に閣議決定された**国家安全保障戦略**に基づき行動します。

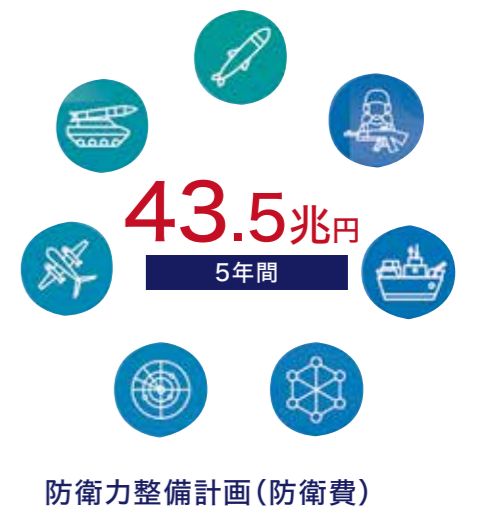
「力による一方的な現状変更」を抑止するため、相手の能力に着目しつつ、新しい戦い方に対応できる防衛力を備える必要があります。



国家防衛戦略

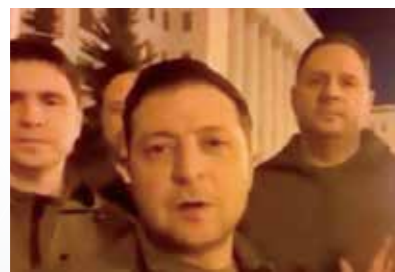


国家安全保障戦略



Q 世界では何が起きているか？

A 日本を含め、世界は『新しい戦い方の脅威』に直面しています。



フェイクニュース等の情報戦
『ゼレンスキー大統領の出国』という偽情報を打ち消す動画の投稿



宇宙・サイバー・電磁波の領域における攻撃、無人機による攻撃
ロシア軍の無人機による非対称的な攻撃

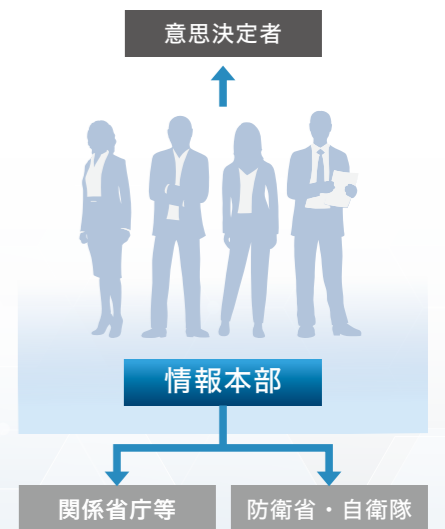


大規模なミサイル攻撃
ロシア軍によるウクライナ全土への約8,000発の弾道・巡航ミサイルの発射(2024年2月22日現在)

Q 我々のミッションは何か？

A 意思決定者に**インテリジェンス**を適時適切に提供します。

情報本部は独自の情報収集機能を持っており、あらゆる情報を集約、分析して情報の成果物（プロダクト）を作成し、内閣総理大臣をはじめとする政策判断や部隊運用に必要な情報を適時適切に提供しています。
我が国は最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しており、新たな危機の時代に突入しています。こうした厳しい安全保障環境において、情報の重要性は従来以上に高まっており、情報戦などの新たな脅威に対処するため、情報本部では必要な機能を探求しています。



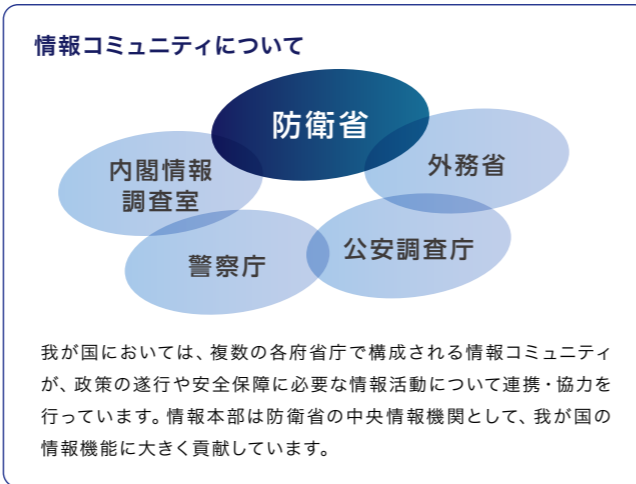
QUIZ
Q 5年間に必要な防衛費はいくら？
A 43.5兆円 = ね

我が国最大の情報機関として

情報本部は、我が国の情報機能の重要性と冷戦後の国際情勢の変化を踏まえ、平成9年に創設された防衛省の中央情報機関であり、我が国最大の情報機関です。

電波情報、画像・地理情報、公刊情報などを収集・分析するとともに、防衛省内の各機関、関係省庁、在外公館などから提供される各種情報を集約・整理し、国際軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行っており、その分析結果は、内閣総理大臣や防衛大臣、防衛省の内部部局等各機関、国家安全保障局をはじめとする関係省庁や陸・海・空自衛隊の各部隊に報告、共有され、政策判断や部隊運用に役立てられています。

また、2022年12月に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部は従来の役割に加え、我が国の防衛における情報戦の中心的な役割を担うこととされ、情報本部への期待は益々高まっています。



情報要求に確実に対応できる体制・態勢の構築に向けて

- 1 情報収集・分析に関する体制の強化
- 2 人工知能(AI)を活用した公開情報の自動収集・分析機能の強化
- 3 各国による情報発信の真偽を見極めるためのSNS情報等を自動収集する機能の整備
- 4 情勢見積りに関する将来予測機能の整備

情報要求

情報提供

安全保障にかかる政策 判断や部隊運用に資する情報をカスタマーに提供

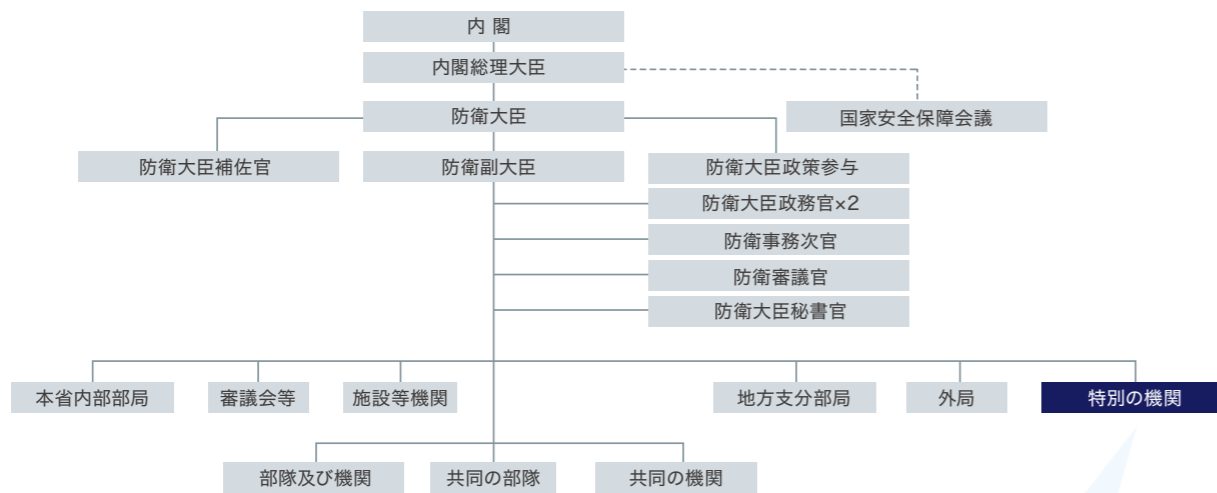
■情報本部のカスタマー



■情報本部

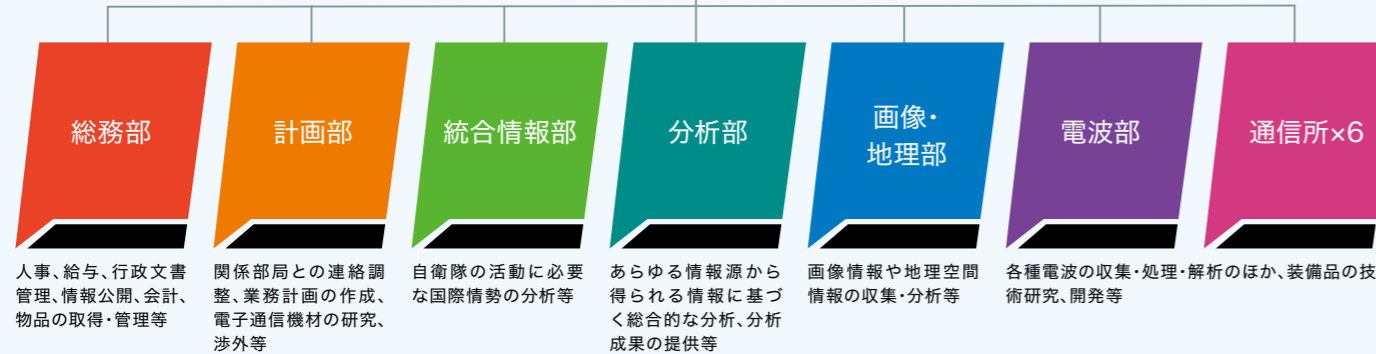


QUIZ
Q 情報本部が創設されたのは何年?
A 平成 [?] 年 [?] =。(句点)

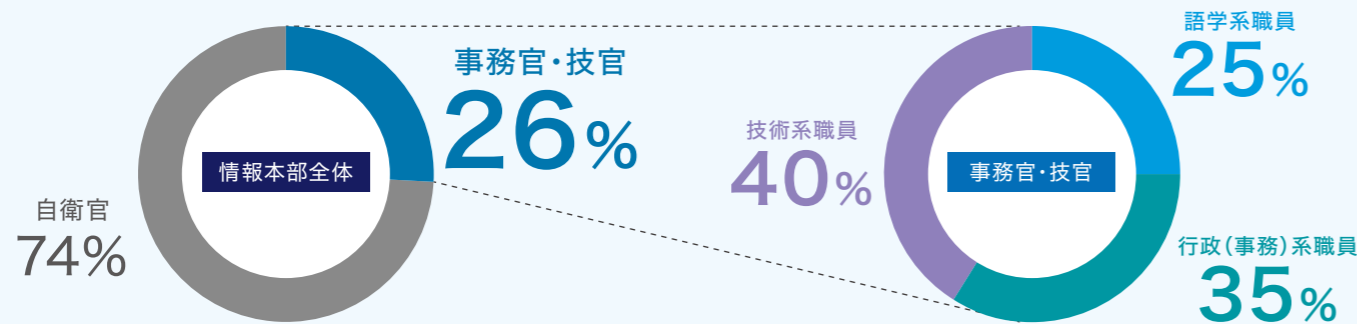


情報本部

- 情報本部長、副本部長以下、各部、6カ所の通信所で組織されています。
- 各部は市ヶ谷(東京都新宿区)に所在し、各通信所は全国各地(東千歳、小舟渡、大井、美保、太刀洗、喜界島の6カ所)に配置されています。
- 情報本部は事務官、技官、陸・海・空自衛官がともに働く組織です。
- 各部等の業務の概要等について9ページ以降で詳しく説明します。



職員の割合 (令和5年12月1日現在)



QUIZ
Q 情報本部全体の事務官・技官の割合は?
A [?] % [?] = を

インテリジェンス分野で専門性を活かし、我が国の安全保障に貢献したい人

防衛事務官

語学や事務的な専門性を活かしたい人

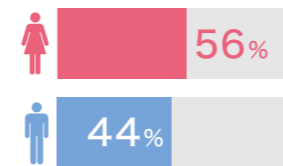
語学系職員

行政(事務)系職員

語学力・知識を活かす人材

語学力や国際関係・安全保障に関する知識を活かしつつ、同分野での最新情報やトレンドを追うことに意欲的かつ国内外へのプレゼンや調整業務にも前向きな人材を求めています。

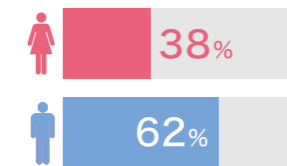
男女の割合 (令和5年12月1日現在)



組織の基盤を支える人材

人事、会計、器材調達、情報保全・情報保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む意欲のある人材を求めています。

男女の割合 (令和5年12月1日現在)

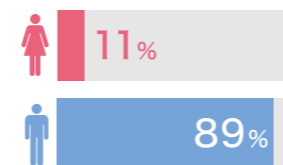


防衛技官

数理的な知識・能力を活かしたい人

衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

男女の割合 (令和5年12月1日現在)



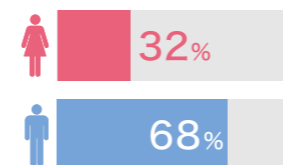
事務官・技官問わず

自身の知識やコミュニケーション能力を情報分野で活かしたい人

情報戦に対応できる体制・態勢の構築に向けて

情報戦における諸外国の動向の常時継続的な収集・分析や情報の真偽の見極め、また、いかなる状況でも我が国に有利な環境を構築するために、自身の知識やコミュニケーション能力を活かしたい人材を求めています。

男女の割合 (令和5年12月1日現在)



QUIZ
Q 語学系職員の女性の割合は?
A [?] % [?] = ち



情報本部の人事、給与、行政文書管理、情報公開、会計、物品の取得・管理等、総務全般に関する業務を行います。

行政(事務)職員

情報業務を行う各部等が安心して職務に専念できるよう、組織の屋台骨として広範多岐にわたる業務を行います。

「自衛隊らしい」部署

語学系／平成27年度入省／男性

私は子供の頃からナポレオン戦争や第二次世界大戦など軍事の歴史に興味があり、また大学で国際法を学んだことから国際情勢に関連する仕事に就きたいと思ってました。さらに、外国語を使う機会が多い職業を希望したことから、情報本部を志望するに至りました。

私が所属している統合情報部は、そのような自分の興味・関心を活かした業務ができる場所だと思っています。ここは情報本部の中でもとりわけ、陸・海・空自衛隊の活動を支える「自衛隊らしい」仕事が多い部署です。

例えば、統合幕僚長に対して自衛隊が活動する地域の状況や、世界各国の安全保障情勢について直接報告する機会が多くあります。また、自衛隊の各部隊・機関に共有される資料の作成にも従事します。若手職員でもそのような重要な業務を任せられることが多々あり、緊張感を伴う仕事ではありますが、やり終えた後の充実感は格別です。特定の分野や地域に限定されない幅広い案件を取り扱うのも、統合情報部ならではの醍醐味といえるでしょう。

さらに、災害派遣等に際し自衛官の同僚、先輩たちと肩を並べて業務に当たり、リアルタイムでの情報活動を通して経験を積むことができます。加えて、統合情報部では海外に出張する機会が多く、国内にあって会議通訳を担当することもあり、語学力を十二分に発揮することのできる環境があります。

以上のように、統合情報部での仕事は国内外の多種多様な分野にわたり、その全てが自衛隊の活動を支えることに繋がっています。一人一人の事務官・自衛官が各自の得意分野を活かしつつ、カスタマーたる各幕僚監部や自衛隊の部隊等に良質なインテリジェンスを提供するべく日夜邁進しております。

様々な事柄に興味を有する方、自衛隊と深く関わる仕事をしたい方にとって、統合情報部は最適の環境だと思います。共に自衛隊を支える新しい仲間を待っています。

組織運営の基盤を支える

行政(事務)系／平成28年入省／女性

私は、情報本部において人事業務に携わっています。総務部は、他部が担当していない全ての業務を担っており、人的、物的、予算的な面から情報本部の基盤を支えている組織運営には欠かせない部署です。人的側面だけを見ても、採用、退職、異動、昇格、昇給など様々な業務があり、日々学びながら業務を行っています。中でも採用業務においては、官庁訪問や業務説明会等で接した方々が採用され、それぞれの部署で活躍している姿を見てとてもうれしく感じますし、やりがいも感じます。我々も職員がより働きやすい職場となるよう最善を尽くしています。

情報本部は、陸海空の自衛官と同じ場所で勤務するという特徴があります。人事業務においては、陸海空それぞれの制度や業務の流れがあることもあり、多少戸惑う場面もありますが、担当者間で協力し合い、高め合うことでお互いが成長することができる職場です。また、オン・オフの切り替えがはっきりしていて、ワークライフバランスの取りやすい職場であると言えます。

このパンフレットをはじめ、官庁訪問や業務説明会等を通じて、少しでも情報本部のことを知っていただきたいと思っていますので、是非積極的な気持ちで扉を叩いてみてください。



陸・海・空自衛隊の活動に必要な国際情勢を分析する情報の最前線です。

語学系職員

情報分析、各種国際会議への参加、通訳支援などに従事。高い語学力、国際関係・安全保障環境の知見・知識を存分に発揮している。



新しい技術と出会える場所

技術系／平成31年入省／男性

情報本部は、我が国最大の情報機関であり、国の防衛に欠かせない存在です。私の志望動機は、情報本部の業務説明会を通じて知り、技術的な知識を活かし、情報分野そして国の防衛に貢献したいと考え、入省しました。

私は計画部に所属しており、現在の職務は展示会や会社訪問などを通じて幅広い分野の最先端技術を調査し情報本部内に共有したり、各部で行っている研究開発などの状況を確認し取り纏めたりする業務を行っています。業務を行っていく中で、今まで知らなかった様々な新しい技術に出会うことが出来るので、非常にやりがいを感じています。また、技術に関する内容を説明する際は、相手が技術にあまり詳しくない職員であってもきちんと内容が伝わるように、分かりやすく説明することを心掛けています。業務を進めていく上で、課題や一人では解決で

きないことに直面することもあります。上司や先輩が親身になって相談に乗って下さるので、乗り越えて行くことができます。

皆さんの中には、専門的な知識がないために不安に思う方もいるかもしれませんが、私も入省時は同じ思いでしたが、探求心や知的な好奇心、そして明るく相談しやすい環境、充実した教育制度により徐々に不安が払拭されました。

安全保障における情報の重要性は益々高まるとともに、情報量は日々増大しています。このような状況下では、様々な最先端技術を活用し、業務を効率化させていくことが非常に重要です。技術的側面から情報本部を支えてみたいと思う方、ぜひ情報本部を志望されてみてはいかがでしょうか。

情報交流の最前線を見晴らせる場所ではたらく

語学系／令和2年入省／女性

私は入省4年目の夏から、外国政府機関との情報交流を支える渉外業務に携わっています。外国政府高官の来訪プログラムの実施、情報本部高官の出張対応、外国機関との意見交換およびその議事録の作成、在京大使館が主催する各種レセプションへの参加等の業務において諸外国との円滑な情報交流を行うため、様々な調整を重ねています。外国政府職員が来訪した際には、ゲストが省内で協議に集中できるよう、各国の文化・慣習、言語面等の細部まで配慮して準備をすることも、重要な渉外業務のひとつです。様々な資料の準備や配布、各種会議についての調整等、大小多岐にわたる業務と日々格闘しています。

また私たちの仕事は、高官の通訳や、資料・意見交換を通じて最新の国際情勢および各国政府の見解に触れる機会も多々あります。特に通訳では、協議で扱うトピックの勉強を事前にしておくことが不可欠であり、両者の意見の橋渡しは上手く出来ているか、通訳中に不安になることもあります。ジョークを含みつつも活発な議論に発展したときなどは、双方の意思疎通を実感します。こうしたなかで平素から情勢を勉強し知見を深めながら、今後どのような情報交流ができれば双方の国にとって有益か、といった交流の「中身をつくる」役割を若手職員のうちから経験

することができます。任された業務について、計画力や思考力、臨機応変に動く力が求められることにも大きなやりがいを感じています。

情報やインテリジェンスといった言葉からは、硬派な職場で働く印象を持たれるかもしれませんが、立ち返ってみれば、日々の業務を動かしているのは我々人間です。

日本人、外国人問わず、丁寧に向き合ったら柄を理解し、担当者同士の信頼関係を積み重ねることが、政府高官の情報交流などの大きな事業を成功させることに繋がります。

情報本部の特性として、陸海空の自衛官と事務官とが共に勤務することも多く、各機関で長年、渉外業務を経験されてきた先輩方が様々な視点からの知見をもらう機会もあります。先輩職員が担当する渉外業務に同行し、立ち回りやミタリレポートを基礎から学ばせてもらえる機会も多いです。

私たち語学職員は、常に語学力を研鑽し、情報交流の最前線に身を置き、日々学ぶことが尽きない環境で働くことができます。海外への興味や好奇心が仕事に直結する職場で、これから皆さんと一緒に働けたらとても嬉しいです！



分析部



あらゆる情報を
様々な視点から
総合的に分析

諸外国の新聞や雑誌、またインターネットなど公開された資料を読み込み、丹念に情報を収集するほか、国内外の政府関係機関等との意見交換から得た情報や、情報本部の他部門が収集する電波、画像情報など、あらゆる情報源（オールソース）から得た情報をもとに、軍事のみならず政治的、経済的要因を含む様々な観点から、国外の情勢を多角的かつ総合的に分析しています。

語学系職員

語学力を活かし、情報を総合的に分析する業務に従事。さらに国際関係や諸外国の軍事、安全保障問題等に関する豊富な知見を蓄えた分析官として、分析業務を担っています。

技術系職員

専門知識を活かし、軍事技術を中心とした情報を分析する業務に従事。科学、技術に関する豊富な知見を蓄えた分析官として、分析業務を担っています。

集え、多彩な職人の顔をした分析官の卵たち

語学系 / 平成17年入省 / 女性

分析部は、担当者自らが収集した公開情報に加えて、電波部や画像地理部、統合情報部等のカウンターパートから入手した情報を集約し、総合的に分析して情報本部としての最終的な評価を与える役割を担っています。ある国や地域で起きた何らかの事象について、それが突発的なものであれ長期的な趨勢の中に位置づけられるものであれ、多角的に見た場合にどのような意味を持つのか、防衛省・自衛隊、ひいてはわが国の安全保障コミュニティというカスタマーに対して分かりやすく説明する、情報本部の顔のような存在です。

そのような分析部の仕事は、料理人のそれに喩えることができます。分析官は、各方面から収集した情報という素材（＝食材）を、それぞれの性質や特色（＝風味）を生かしながら、目的・用途（＝和洋中の別等）に合わせていかにプロダクトにまとめる（＝加工・調理する）か、手腕を問われます。いくら素材が良くても、新鮮うちに適切な味付けで提供しなければ台無しになります。そして、盛り付けの見栄えも含め、客の要求に応える仕上がりになっているかが肝心です。

あるいは、情報分析を服装のコーディネイトに擬えても良いかもしれませんが。クローゼットの中には色とりどりの衣服や装飾品（＝情報）がありますが、バランスの良いお洒落をするには、持っている服全てを身に着けるのではなく、取捨選択をし、時と場合に応じた組み合わせを考えなければなりません。情報プロダクトにもバランスは必須です。

このように見ると、優れた分析官は、腕利きの料理人であり、ペテ

ランのスタイリストであると言えます。しかし、どんな料理人もスタイリストも、始めから一流の人はいません。地道に経験を積み上げる中で、苦労も数多くある筈です。食材や服装の絶妙な組み合わせに関する知見は、長く続けてこそ得られるものでしょう。分析の仕事も同じです。各種情報を多面的に精査し、本質を抉り、プロダクトを作成する作業は、終わりの見えないものを感じることも多々ありますが、そうした苦悩を重ねたある日、ふと自身の成長を感じ、充実感に浸ることがあるのです。自身の満足以上に、分析官として指導にあたる後輩の成長を目の当たりにした時の喜びはひとしおです。

情報本部で分析業務を始めるのに、特殊な技能も卓抜した才能も必要ありません。求められるのは、好奇心と探究心です。仕事のみならず日常生活の中で、幅広い分野に関心を持ち、知識を求め、興味の対象に実直に向き合い、掘り下げることを大切に。分析官でも料理人でもスタイリストでも、あらゆる職業を究める上で不可欠なのはこの二つではないでしょうか。幸いなことに、情報本部が分析の対象とする国際情勢は、新しい出来事の連続であり、好奇心も探求心も、仕事をする中で深めていけます。

改めて、分析の仕事は料理と服装の他にも、種々の職業に擬せられるように思います。分析部で、メイクアップ・アーティスト、家具職人、華道家、振付師等々、様々な職人の顔を持った皆さんと、切磋琢磨しながらプロダクトを作り上げていけるのを楽しみにしています。



画像・地理部



卓越した専門性を持って

幅広い領域で

活躍するために

画像情報の収集・分析（IMINT）、地理情報システム（GIS）を活用したデジタル地図の作成のほか、画像情報とデジタル地図等を活用した空間分析すなわち地理空間インテリジェンス（GEOINT）を推進しています。

行政（事務）系職員

分析官として、衛星画像に写っている対象を、空間と時間を軸に軍事戦略・戦術、技術、政治、経済等のさまざまな観点から読み解いて政策立案部門等に提供するほか、海外任務に派遣される自衛隊部隊等に対してオペレーションに必要な現地地図や地理情報を整備し提供しています。

語学系職員

国際政治等の知見や語学力を活かして、画像解析等に必要な海外情報の収集を含む分析官としての業務や、国際会議の企画、参加を通じて、情報交流に従事しています。

技術系職員

分析官としての業務に加え、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード・ソフトの研究開発に関する業務、空間情報処理、リモートセンシング、データサイエンスやAIといった情報処理技術を用いて創造的な業務に従事しています。

広い視野を持てる仕事

技術系（高卒者） / 平成20年入省 / 男性

私は、高校時代に学んだ情報技術を活かし、なにか国防に携われる仕事をやってみたいと思い、情報本部を志望しました。

採用後は、画像・地理部の地理情報システム（GIS）を扱う部署に配属になり、海外派遣の際に自衛隊の部隊活動の基本となる地図の作成を行っていました。その後、一度他部署に異動し、現在は、画像・地理部で、衛星画像の分析等を行う部署に所属し、日々の情勢変化に注視しながら、防衛政策の立案に資する資料の作成を行っております。画像分析業務では、画像からの情報だけでなく、オープンソースや情報本部内外の部署との情報交換といった様々な情報源を使用し、関連する情報を収集・分析をすることがとても大事です。また、収集・分析した情報は、日々蓄積しておくことで、情勢変化などの際、必要な情報を

即時報告、提供することができます。このように情報業務では、多岐にわたりアンテナを張っておくことが非常に重要だと私は考えています。

「情報」と聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、当部では、部内外で様々な教育の機会が充実しており、初心者でも安心して業務に取り組むことができます。また、経験豊富な事務官、自衛官の方も親身になり教えてくれます。

言葉だけでは、わからないことばかりの画像・地理部で不安かと思いますが、毎日成長できる職場であることは間違いありません。ぜひ、志望してみたいかがですか。

近い将来、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

円滑な情報業務をサポートする仕事

技術系（大卒者） / 平成31年入省 / 男性

私は、大学でコンピュータによる画像処理やAIについて学びました。就職活動中、大学で学んだことを生かせる仕事につきたいと考えていたところ、画像・地理部の業務説明会にて業務内容を聞き、ここなら大学で学んだ専門知識を生かせそうだと考え、入省を決めました。

画像・地理部における業務といえば、衛星画像を判読することにより情報収集を行い、他の様々な情報と総合して報告することがメインですが、それ以外にも重要な業務は沢山あります。私は現在研究開発部門に所属し、最新技術の調査や画像・地理部の業務を支えるコンピュータシステムの導入などの業務を行っています。特に、衛星画像の解析を行っている分析官の負担軽減となるよう、各データにアクセスしやすい画面構

成やデータベースの構造の検討、必要なハードウェアやソフトウェアの条件の追求、AIによる判読の一部自動化などの課題に取り組んでいます。

業務を行うにあたり、コンピュータシステムやリモートセンシング、AI等の基礎的な知識が必要となることが多いですが、先輩方の指導や防衛省外での研修の受講等、サポート体制も充実しています。

「情報本部に興味があるけれども、衛星画像や電波信号などを扱うことが難しそう」と思われることがあるかもしれませんが、事務系の業務や私の担当している研究開発系の業務等、円滑な情報業務をサポートする業務もありますので、ぜひ情報本部を選択肢のひとつとしてみてはいかがでしょうか。



電波部

我が国唯一の

電波情報部門



全国6か所に所在する通信所が収集した各種電波情報を調査・分析し、国の安全保障に必要な情報を日本政府、部内、防衛省内、自衛隊の各部隊等へ提供しています。

職員は、専門性を求められ秘匿度が極めて高い情報を扱っています。自衛官と事務官等が協力し、強い責任感とやりがいを感じながら、電波部門一丸となって我が国の防衛に大きく貢献しています。

語学系職員

高い語学力や専門知識の他、柔軟な発想力、思考力及びコミュニケーション能力を活かし、日々収集される情報資料の翻訳・調査・分析、重要政策や自衛隊の運用判断に資する各種報告資料の作成、情報の配布や関係機関との通訳の他、企画・調整業務等を担当しています。

技術系職員

サイバーセキュリティ・情報処理技術、無線通信技術、暗号技術、数学等の専門知識を活かし、各種電波の信号諸元を解明する業務、通信ネットワーク技術等に関する最新技術の調査・研究業務、ソフトウェア開発に関する業務及び収集器材開発業務等に従事。専門知識・技能については、一つ分野に特化して高度な能力を磨いたりあるいは幅広く複数分野の知見を身に付けるなど、個人の素養や適性に応じ、教育・研修等の機会も通じて伸ばすことが可能です。

技術系（高卒者）／平成26年入省／男性

食材を収穫する立場にありましたが、現在はお客様のニーズに最大限応えられるよう通信所から頂いた食材を調理し提供しています。

電波部では、様々な部署が存在し専門性の高い知識や技術を活かし、あらゆる方面からアプローチをかけ、確度の高い情報にしていきます。部署によって業務の内容は異なりますが、研修や教育が充実しているため一から学んでも安心して業務に取り組むことができます。何より、多くの知見を持った先輩方が丁寧に教えてくださるため、気負うことなく何でも質問をすることが戦力化の一番の近道だと感じます。

目まぐるしく変化する情報技術に対応するため日々邁進し、これまで培った経験や技能を活かし、そこから価値の高い情報を掴んだ時には、何とも言えない達成感とやりがいを感じます。

これからも、進化し続ける電波部に皆さんの新しい知見を交えて共に我が国の安全保障に貢献していきましょう。

技術系（大卒者）／令和2年入省／男性

ではなく中途で入省された方など様々です。全く知識がない方でも情報本部の教育制度は充実していますので、基礎から専門知識まで学ぶことができますので安心してください。また、大学院留学制度もあり、研究の経験や自分の知識を高められ、自分が成長できる職場だと思います。

ワークライフバランスについても積極的に取り組まれており、フレックスタイムや各種休暇制度を利用しやすく、自分の時間を大切にされる方などにとっても仕事のオン・オフが切り替えやすい職場です。

情報本部での仕事は、やりがいがあり、人生をかけるに値する仕事だと思っています。皆様と共に働ける日を楽しみにしています。

QUIZ
Q 全国に所在する通信所の数は？
A [?] カ所 [?] = ヅ



通信所



電波情報を収集する

「日本の耳」

我が国上空に飛来した軍事通信電波などを収集するとともに、収集した情報を迅速に整理・調査し、必要な情報を関係部署に提供しています。通信所では一般職（高卒者）試験からの採用者が、自衛官とともに、こうした業務の実務を担っています。自らが収集・整理した電波情報が我が国の安全保障の一端を支えているという高い誇りと強い責任感を保ちながら、日々の業務に従事しています。

技術系職員

電波情報の収集・整理等の業務に必要な各種通信、情報処理等を含む教育プログラムや研修を修了した後、各通信所に配属され、それぞれの適性に応じて、IT技術（情報セキュリティ、ネットワーク、プログラミング等）、無線通信技術及び語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、各分野における高い専門知識を備えたプロフェッショナル集団の一員として、高度な電波情報収集器材等を駆使し、極めて秘匿度の高い電波情報の収集・整理等の業務に従事する。「日本の耳」としての機能を直接支える仕事を行っており、「国防の最前線の現場で勤務している」という緊張感と強い責任感を持って全国各地で活躍している。また、将来的には電波部に勤務し、本部機能を支える業務を行うことも可能で、自身の実力を発揮しやすい環境となっています。

技術系（高卒者）／令和2年入省／女性

また、全国に点在する通信所にはそれぞれ特色があり、業務内容も様々です。しかし共通して、取り扱う情報は秘匿性が高く国防を担うため緊張感や責任感があり、やりがいを感じる仕事です。

職場では、自衛官、事務官、技官といった多様な職域の人たちがそれぞれの知識を生かし一丸となって勤務しているため、一般企業では得られないような経験ができ、刺激を受けることが多いです。また、昼の休憩時間や課業後にソフトバレーやバドミントンなど各種スポーツをすることも盛んで、部署や役職に関係なく交流を深めることができ、とても風通しの良い環境になっています。

志ある皆さんとともに知識を深め、様々な経験を積み、それらを武器にして国防の力となれることを楽しみにしています。

技術系（高卒者）／平成26年入省／女性

入省した当初は専門的な業務に対する不安もありましたが、情報本部は研修・教育が充実しており、業務を遂行する上で必要な知識や専門的な技能を確実に身につけることができるため、現在では自信をもって業務に取り組むことができている。それらの専門的な知識・技能は資格の取得に直結しているので、スキルアップにも繋がる魅力的な仕事です。

また、情報本部は陸海空自衛隊の部隊と比べると技術系職員の割合が高く、同じ採用で入省した沢山の先輩方が、業務のこののみならず今後のキャリアパスについて丁寧にアドバイスしてくれるので、未来を見据え安心して働ける職場です。

「情報のプロ」として国防の最前線である情報本部で皆さんも力を発揮してみませんか。

知識を武器に

私は学生時代に学んできたIT系の技術を活用できる就職先を探していたところ、防衛省の公式ホームページに情報本部を見つけ、仕事内容に興味を持ったため志望しました。

通信所では主に、電波情報という目には見えないものを収集し情報として可視化させて関係部署へ提供しています。その過程でIT系や語学など幅の広い専門知識が必要になりますが、専門知識を持っていないでも安心して下さい。情報本部の充実した教育・研修や各企業で開催されているセミナーに参加できる機会が豊富にあり、そこで必要な知識・技能を修得することで業務の幅が広がるとともに、自身のスキルアップにもつながります。入省当初の私は、IT系の知識しかありませんでしたが、通信所で勤務して語学が必要になり1年間の語学教育に参加し、今では双方の知識を生かし業務に励んでいます。

情報のプロとして成長できる職場

私は学生の頃、テレビのニュース等で活躍される自衛官の姿に憧れを持ち、国防を担う仕事に就きたいと漠然と考えていました。就職活動を意識し始めた頃、学校に置かれていた防衛省の職員採用パンフレットで情報本部を知り、その名称と任務・活動に興味を持ちました。それから、高校のOBで防衛省に勤務されている方との交流や業務説明会を通じて、情報本部の業務内容に強く心を惹かれ、情報本部で働くことを志望しました。

現在、通信所において我が国上空に飛来する各種電波の収集に携わっていますが、その職務は重要性が高く、迅速な報告が求められるため、緊張感を持って業務に取り組んでいます。また、報告したものは防衛省のみならず様々な機関で活用されており、国家の安全保障に直接貢献できることから、担当分野の専門家としてやりがいと責任感を日々実感しながら勤務しています。

語学力を活かし将来の分析官を目指したいあなたへ

防衛省専門職員採用試験



概要

防衛省専門職員採用試験の試験区分「英語・ロシア語・中国語・朝鮮語・アラビア語・インドネシア語・フランス語・ベルシャ語」の合格者から、高い語学力に加え、我が国の安全保障や諸外国・地域の情勢(政治・外交・文化・民族問題等)への関心があり、論理的思考能力や表現能力に優れた人材を採用します。年度により採用区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

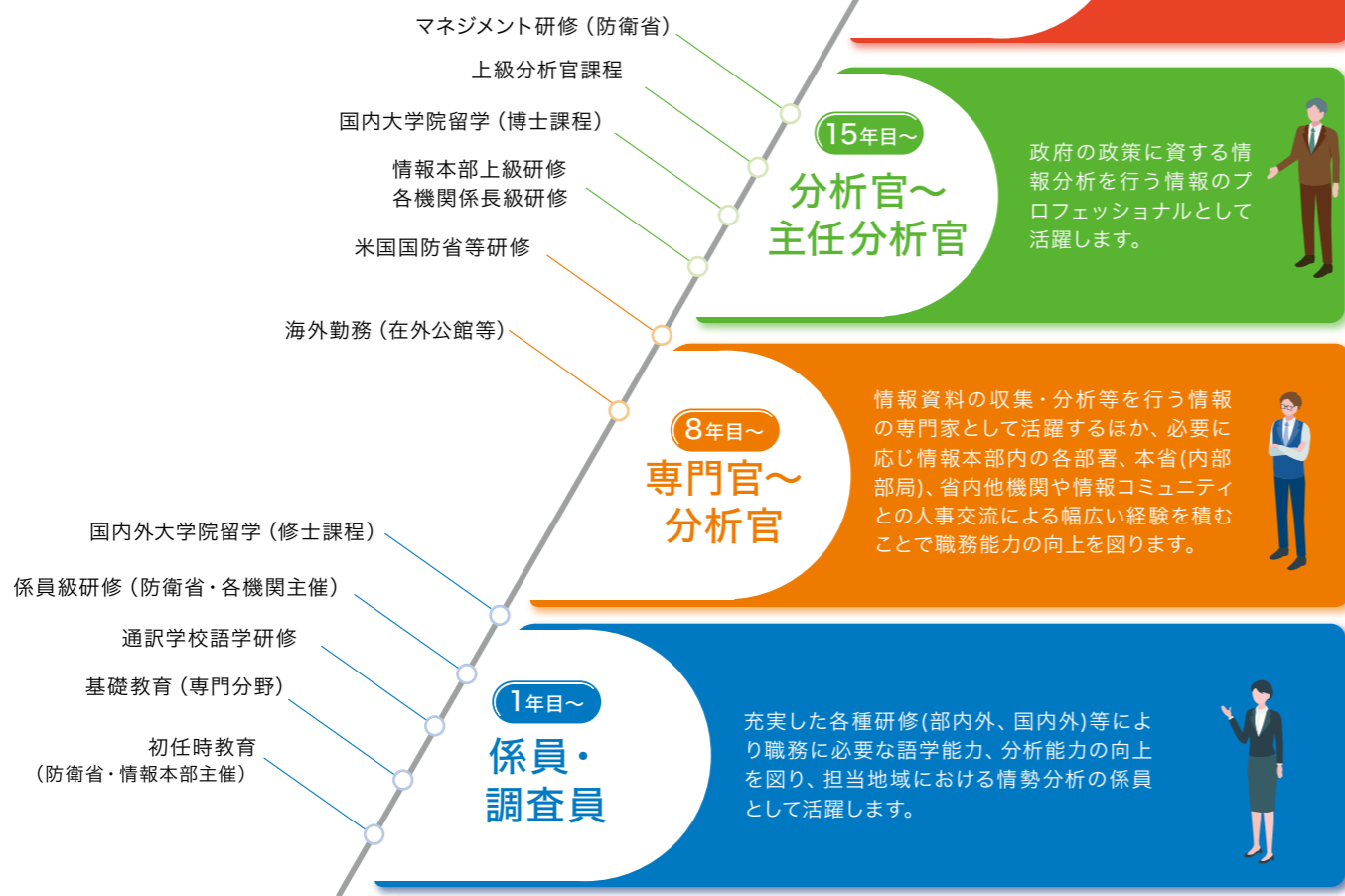
専門語学能力を駆使して、国際関係や軍事情勢など日々収集される情報の処理や分析、安全保障に資する各種資料の作成、報告、国内外関係機関等との情報交換にかかわる業務等に従事します。

キャリアパスの一例



行政職(語学系)

(総合的な情報の分析等に携わる職員の場合。数次は標準的な年次を示す。)



現場は何よりの教科書

大学でロシア語を専攻しながら教員免許を取得した私は、ロシア語教官の職があると知って、迷わず防衛庁(当時)の門を叩きました。しかし、配属されたのは情報本部の前身組織で、以来、数十年にわたり情報の世界に身を置くことになりました。

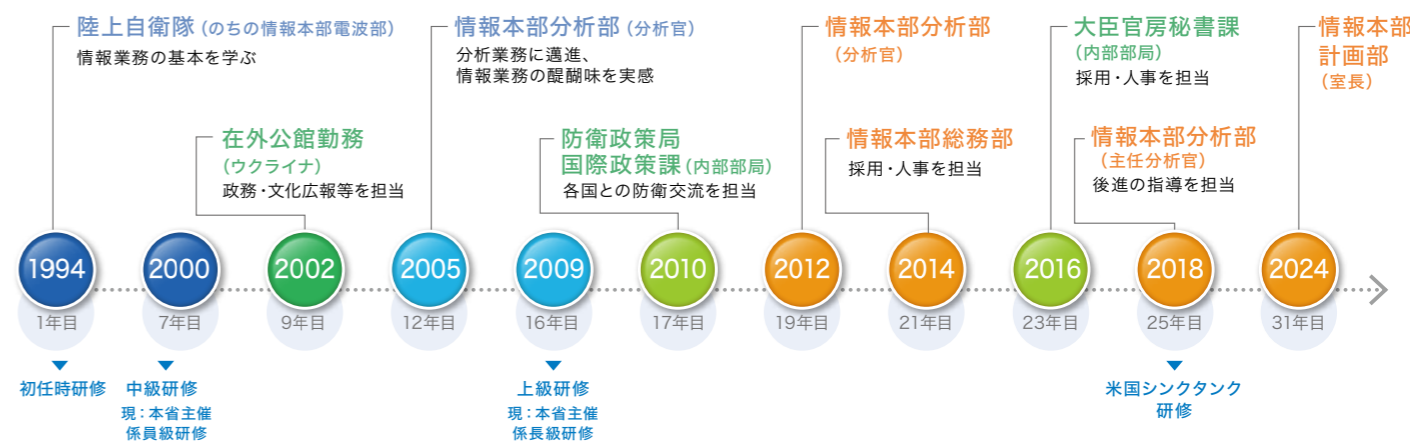
入庁当時は、冷戦期に情報の第一線で活躍した先達から情報業務の基本を教わり、その後、外務省に出向し、独立10年目のウクライナで外交の一端に携わりました。帰

国後は、情報本部で分析官として情勢分析に没頭する日々を過ごし、途中、内部部局で防衛交流や人事も担当しました。情報本部は研修制度が充実していますが、私は何より多様な現場から激動の世界情勢を見つめてきた経験が今に繋がっていると感じています。数年後には、「新領域」の先の未知の領域が待ち受けているかもしれません。今こそ多様なバックグラウンドを持つ人材が求められています。教師になるはずの私もやってこられたのですから、国際関係や安全保障の知識がないからと躊躇せずに、ぜひ情報の世界に飛び込んでみてください。



語学系 平成6年入省

私のキャリアパス



VOICE 職員の声



- 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。**
 日本にいながらにして、世界情勢の最新動向に身近に触れることができることです。
- 情報本部を志望した理由を教えてください。**
 語学を軸に、一貫性をもって勤務することに魅力を感じたからです。
- 情報本部の仕事のやりがいについて教えてください。**
 仕事内容が我が国の防衛に直結することです。国防の一翼を担う上で強い責任感が求められますが、仲間と力を合わせて任務を完了した際の達成感は大きいです。
- 仕事で普段心がけていることを教えてください。**
 普段から、上司や同僚、そして関係部署の方々への感謝の気持ちを忘れないよう心掛けています。分析業務は決して単独作業ではなく、組織が一丸となって行うチームワークであることを日々の仕事を通じて実感しています。
- 情報本部の魅力を教えてください。**
 残業時間をできるだけ減らせるように、締め切り日や作業に要する時間等を考慮してタスクの優先順位を意識するとともに、関係者との情報共有を緊密に行うことで、お互い協力しながら効率よく仕事ができるようにしています。
- 細部にこだわることです。**

- これまでの勤務で印象に残ったエピソードを教えてください。**
 入省2年目を迎えて間もなく、担当地域で大きな情勢の変化があり、国民と隊員の安全が、自らの分析に掛かっているという緊張感の下で職務を遂行したことです。事態収拾後、部隊の方々から直接感謝の言葉をいただいたことは、分析官として一生忘れない経験となりました。
- 入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良かったことを教えてください。**
 自分なりに思いつくもので良いと思いますが、「今しかできない」ということに全力で取り組んで、思い残すことなく入省していただければと思います。その経験が、入省後何らかの形で活かさせる日がくるかもしれません。
- 情報本部を目指している学生へのメッセージ**
 情報本部では、様々な特技や専門分野を持つ職員がそれぞれの知識と技能を駆使し、一丸となって職務を遂行しており、皆さんの持つ専門性が今まさに国防の中枢で必要とされています。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています。
- 情報本部は若手のうちから活躍できる機会が多く、非常にやりがいを感じられると思います。研修など能力向上のための制度も整っているため、不安になる必要はありません。**

数理的センスやITスキルを駆使して仕事したい・行政事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験 (大卒程度試験)



概要

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)の試験区分「行政」、「デジタル・電気・電子」及び「機械」(以下、「技術系」という。)の合格者から採用します。なお、技術系からの採用者は、配置される職務によって俸給表(行政職又は研究職)が決定されます(入省後、配置換え等により変更する場合があります)。

このほか、国家公務員採用総合職試験の合格者から採用することがあります。年度により、採用をする試験、試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

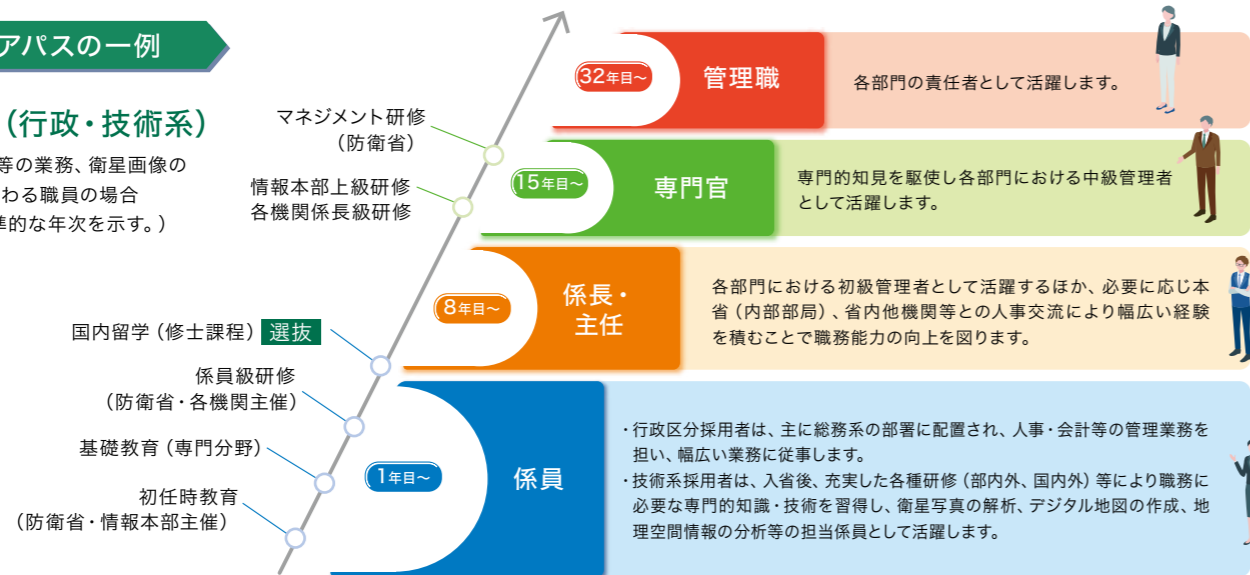
業務内容

- 人事、給与、会計、器材調達、情報保安・保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等
- 衛星写真の解析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等
- 統計・代数学、通信工学等の知識を用いた、各種電波信号の解析や収集した電波情報の解析
- 情報に関する最新技術の調査や通信処理、高速処理技法、符号機構の研究や解析をするためのソフトウェアの開発

キャリアパスの一例

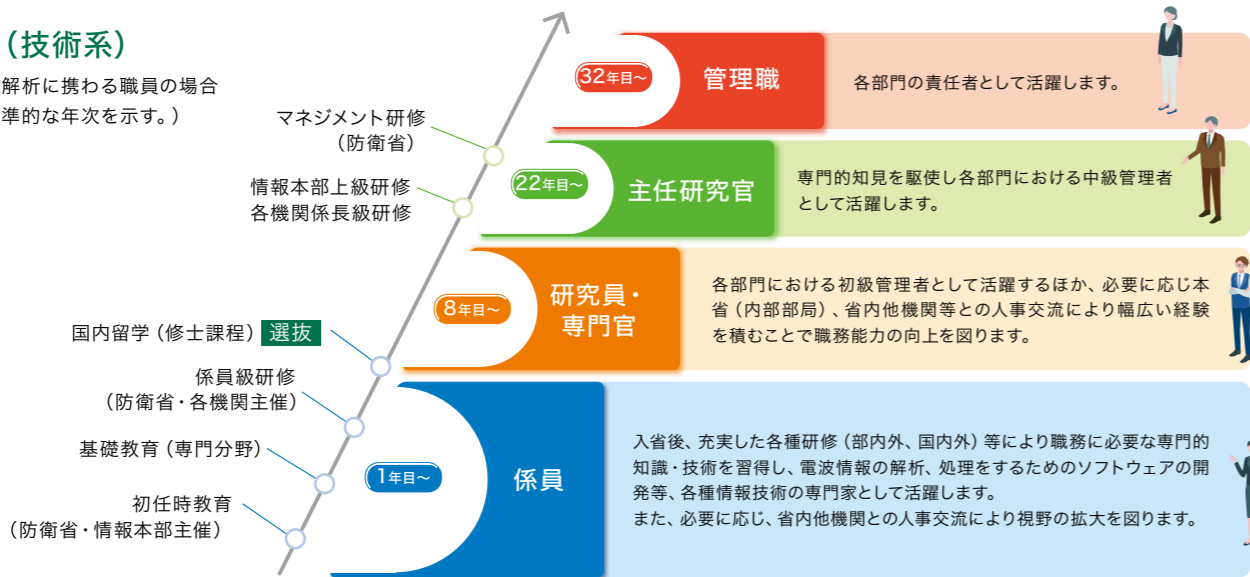
行政職(行政・技術系)

人事・会計等の業務、衛星画像の解析等に携わる職員の場合(数次は標準的な年次を示す。)



研究職(技術系)

電波情報の解析に携わる職員の場合(数次は標準的な年次を示す。)



専門知識を生かせる職場

私は、就職雑誌で防衛省(当時:防衛庁)が技術系職員を採用していることを知り、大学の専門である応用数学を生かせると考え受験しました。

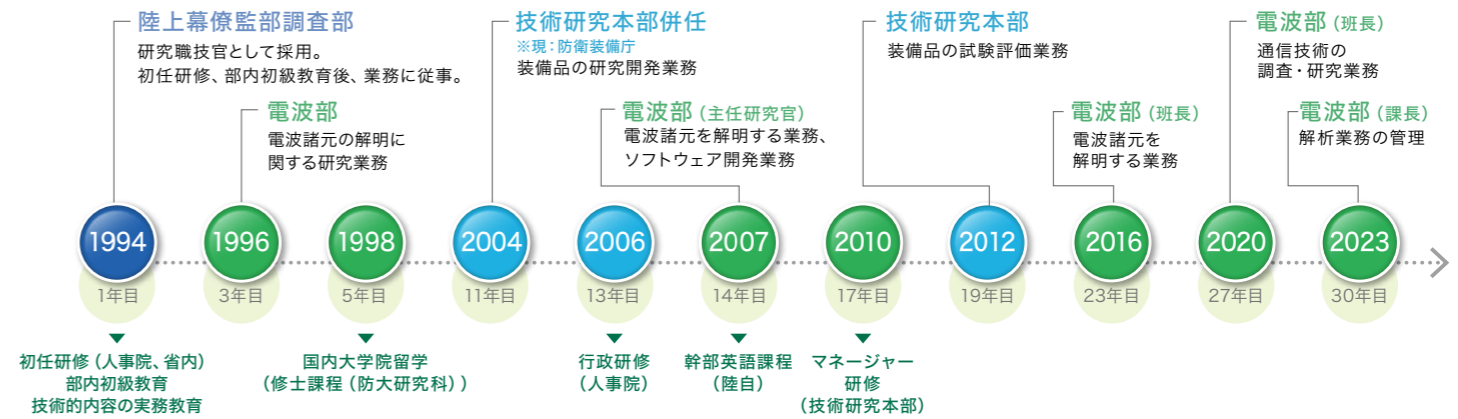
入省後は、主に電波部で解析業務に従事してきました。解析業務は、業務遂行に必要な技術的知識が幅広く、日々の勉強が不可欠で、困難な問題に直面することもあります。成果を上げたときには技術系職員としてこの上ない達成感や充実感を得ることができる業務で

あると思います。また、機関交流として配属された防衛装備庁においては、研究開発業務を経験し、技術行政の側面で視野を広げる良い機会にも恵まれました。

現職では、解析業務の管理を担当しています。責任は重いですが、長年培ってきた技術的な知識や経験は業務に生かせるという利点を強く感じるとともに、高官報告において我々の技術が我が国の安全保障を支えているという実感を得ることができています。

技術系(大卒程度) 平成6年入省

私のキャリアパス



VOICE 職員の声



情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

係 現在、高官に報告するプロダクトを作成しています。情報本部では、入省2~3年目の若手職員でも大きな仕事ができるチャンスがあります。また、そのために必要な知識・技術は充実した研修で習得できます。

専 入省後数年で国内大学院留学の機会があり、また、各種教育や専門分野の先生を招聘しての勉強会も開催され、自己の専門性を高める機会が充実しています。職場においても、各分野に詳しい人が居るので、OJT等で学ぶ機会はたくさんあります。

入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良かったことを教えてください。

専 専攻は人それぞれですが、大学での勉強は直接役に立たなくても新しいことを学ぶ基礎となり、卒業研究は研究のやり方を学ぶ機会なので、真剣に取り組んで下さい。また、英語は文献やインターネットで調べものをするのに必要となる機会が多いので、時間のある学生のうちに勉強しておいた方がよいです。

情報本部を志望した理由を教えてください。

係 日本の防衛を陰から支えるというスタンスに、大きな憧れを感じました。また、転勤が少ない(基本的に市ヶ谷で勤務する)のも個人的には魅力的だと思いました。

係 昔から情報業務に対する憧れが漠然とありました。情報コミュニティの中でも、情報本部ならこれまでに学んできた画像解析やAIに関する知識を活かせると思い、志望しました。

情報本部を目指している学生へのメッセージ

係 正直、情報本部は謎が多いと感じている方が多いかと思います。ただ確実に言えることとしては、今まで皆さんが培ってきた知識や経験と業務内容との関連性の有無に関係なく、日々成長できる職場です。

係 情報本部の仕事は唯一無二であり、とても誇り高いものだと感じています。学問分野に関わらず、これまでの知識や経験を活かすことができると思います。貴方と一緒に働ける日を楽しみにしています。

これまでの勤務で印象に残ったエピソードを教えてください。

長 防衛大臣に対する報告資料を作成し、後日、大臣室で大臣の横に座ってその資料を用いて報告・説明する機会がありました。防衛省という巨大な組織の中ではとても稀なのですが、情報本部ではかなり若い頃から、このような機会に恵まれるといった醍醐味を味わうことができます。

技術・一般事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験 (高卒者試験)



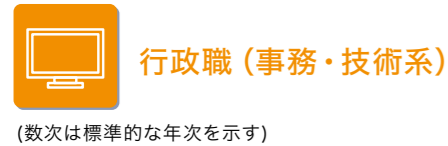
概要

国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)の試験区分「事務」「技術」合格者から採用します。年度により採用をする試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

事務系は、人事、給与、行政文書管理、会計及び物品の管理等の幅広い業務に従事します。事務系の一部及び技術系は、①IT、プログラミング、語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、電気・情報、機械等の高い専門知識を備えたプロとして、各通信所における電波情報の収集・整理等の業務に従事、又は、②衛星画像の解析や海外任務に派遣される自衛隊部隊のオペレーションに必要な現地の地図や地理情報の整備、また、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード、ソフトの研究開発に関する業務に従事します。

キャリアパスの一例



段階に応じた管理研修
(情報本部等主催※)
選抜

段階、必要に応じた
部内および部外における
専門教育等
選抜

係員級研修
(防衛省・各機関主催)

基礎教育(専門分野)
初任時教育
(防衛省・情報本部主催)

30年目~
**専門官・
班長職**

事務系 幅広い経験、知識をもって情報本部各部門の他、省内各機関等の中級管理者として活躍します。

技術系 専門的知見を駆使し情報本部内(画像・地理部、電波部、各通信所等)の各部門における中級管理者として活躍します。

15年目~
**係長・
主任**

事務系 各部門における初級管理者として活躍する他、必要に応じ本省(内部部局)、省内他機関等との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。

技術系 初級管理者として活躍する他、必要に応じ情報本部内及び他機関との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。

1年目~
係員

事務系 総務系の部署に配置され、人事・給与等の管理業務を担い幅広い業務に従事します。

事務・技術系 充実した各種研修、教育等により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、主として①通信所において電波の収集業務の最前線として活躍。②画像・地理部において衛星画像の解析等に従事します。

将来予測の分析ができるプロに

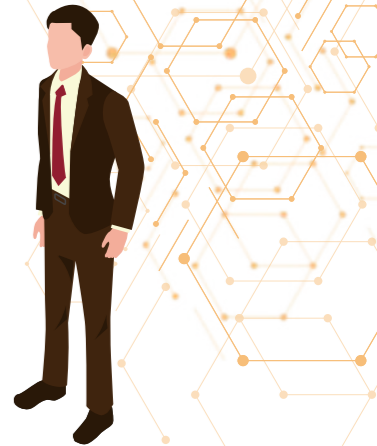
安定した公務員を志望していた私は、防III種技術系試験(現「一般職(高卒者)試験」)を知り、専攻していた電気工学の知識を活かせると思い受験しました。

入省後は、通信所、内部部局、防衛装備庁において多岐にわたる業務経験を積み、現在は3度目の勤務となる画像・地理部で衛星画像の解析業務に携わっています。研修では、技術系でありながら語学にも挑戦、担当国の言語や文化を知り、自らのスキルアップに繋がったとともに、その国の立場になった考え方を業務

に反映できていると実感しています。教育はとても充実しており、部外では3Dモデル作成など様々な教育を受講できるため、情報のプロを育成できる環境が十分にあります。

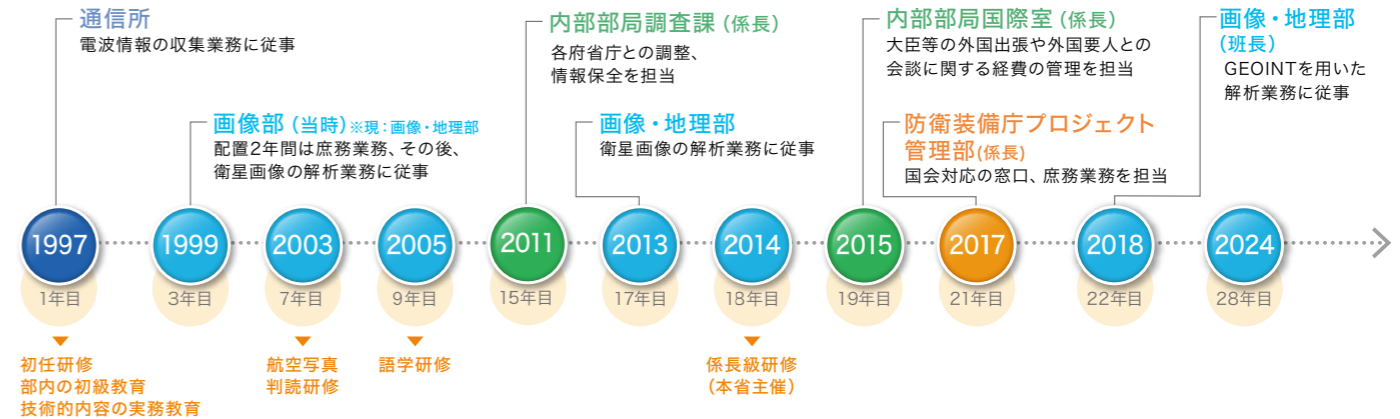
現在、画像情報とデジタル地図等を融合させるGEOINT(地理空間情報)という新しい分野に挑戦し、これまで培ってきた情報の知識や解析技術を駆使して、将来を予測した分析ができる面白さがあります。なお、これには発想力が重要です。

情報本部を志してくれる皆さんとともに働ける日を楽しみにしています。



技術系(高卒者) 平成9年入省

私のキャリアパス



VOICE 職員の声



情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

係 ここでは出来ないことが多く、仕事内容も特殊で普段体験できない仕事をしているため、とても刺激になっている。また、ITや語学などの教育・研修を公費で受けることができ自分のスキルアップも図れるところも魅力だと思う。

長 情報本部には、一般事務や語学、技術、研究職等の事務官等、陸海空それぞれの職種の自衛官など多種多様な人材が集まっています。自分と異なる経歴や経験を積んだ同僚と共に業務を実施することで、多様な思考過程や業務スキルを吸収できる部署だと考えています。

情報本部を志望した理由を教えてください。

係 学生時代に勉強していたITスキルを活かせる公務員になりたくてパンフレットなどで探していたらこの仕事に辿り着いた。さらにこの仕事について調べていくと非常に特殊なことを行っていて、さらに興味が高まったため志望した。

情報本部の仕事のやりがいについて教えてください。

係 仕事をしながら自分のスキルアップができるため、とてもやりがいを感じながら仕事をする事ができる。また、情報の力で陰ながら国の安全保障を支える高い誇りと強い責任感を持ちながら業務に従事することができるためとてもやりがいを感じる事ができる。

仕事で普段心がけていることを教えてください。

主 コミュニケーション能力です。業務は一人ではできません。相談しやすい職場環境を目指すには、班員や同僚、上司との常日頃からコミュニケーションを取ることでお互いの信頼を積み上げながら勤務しています。まずは元気な挨拶から!!

入省前にやっておいて良かったこと又は やっておいた方が良いことを教えてください。

長 業務上、PCは必ず使用することになるため、PCに関するスキルを磨いておくこと必ず役に立ちます。基本的なPC操作はもちろんです。IT関連の知識を事前に学んでおく、業務の効率向上や幅が広がり、より大きな成果を上げることができるようになると思います。

情報本部を目指している学生へのメッセージ

係 皆さんと一緒に働ける日が来るのを心からお待ちしています。一緒に良い職場・良い国を築いていきましょう。

係 名前だけ見ると「情報」に特化した組織なのかと思ってしまうですが様々な分野で活躍する方々がたくさんいます。高校や専門学校、大学等で培った識能を活かすなら情報本部が一番適していると考えます。

留学

国際情勢を分析する上で必要な安全保障に関する知見や各技術分野における解析に必要な技能・知識を得るため、国内外の様々な大学院（修士課程・博士課程）への留学の機会があります。

fileNo.1

米国のダイナミズムが息づく街で

私が留学先として選んだのは、米国の首都ワシントンD.C.に所在する大学院の修士課程です。軍を含む米国政府機関での実務経験豊富な教授陣による授業は、理論や歴史に偏り過ぎることなく、ウクライナ戦争や中国の核増強等、現在進行形の安全保障上の課題もバランスよく取り扱っており、帰国後の業務に直結する新たな知識や視点を習得できると日々実感しています。

首都ワシントンD.C.での生活も、米国を理解するうえで貴重

な経験となっています。米国政治を象徴するホワイトハウスや議会議事堂に加え、人々の日々の生活や政治的な抗議行動を目の当りにし、そして様々なバックグラウンドを持つ人々と交流することを通じて、同盟国である米国のダイナミズムを肌で感じています。

情報本部では、このように入省後も貴重な学びの機会があります。知的好奇心を持って学び続け、日本の安全保障に貢献する意欲のある皆さんをお待ちしています。



ワシントンモニュメントと日本から寄贈された桜



米国議会議事堂とクリスマスツリー

語学系 | 平成27年入省 | 男性

fileNo.2

国内大学院留学で学んだこと

私は、国内の大学院留学でAI(人工知能)について研究する機会を得ました。研究は、高速処理をしつつ性能を維持した生成AIの実装について取り組むことで、研究を自力で計画・実行していく基礎を習得できたと考えます。また自身の学びという点で、AI分野が世界的に活発に研究・開発されていることから、AIの最先端研究及び専門知識を収集できた大変貴重な機会でした。そして、大学院学生には、様々な民間企業や国家機関から入学した研究者も多く、交流していく上で自身の研究を如何に社会に還元できるかが重要だと実感しました。

現在は、留学中に得た研究の経験や知識を基に情報システムの研究開発業務を行っています。

情報本部は、部内での研修の他に大学院留学を始めとした部外研修プログラムが多数あり、自身が学べる場、成長できる機会が用意されています。貴方と学びや職務について、切磋琢磨すると共に、楽しみながら働けることを待ち望んでいます。

技術系(大卒者) | 平成29年入省 | 男性

在外公館出向

外務省に出向し各国の在外公館で勤務する機会があります。現地情勢を肌で感じるとともに、外交という立場から我が国と任国の情報に携わることにより、その後の情報本部での勤務に活かすことのできる多種多様な経験をすることができます。

fileNo.3

中東の産油国に外交官として赴任して

入省後、情報本部での約6年間の勤務を経て、現在、在クウェート日本大使館で勤務しています。クウェートは日本にとって主要な石油輸入元であることに加え、イラク人道復興支援活動の際には自衛隊がクウェートを拠点に活動していたこともある等、防衛面においても関係を有してきた国です。大使館内の所属先は総務・政務班ですが、防衛省からの唯一の出向者であるため防衛分野も担当しています。日本の立場や考えを理解してもらえよう、クウェート政府・軍関係者へ働きかけを行うことが主な仕事です。また、当地

外交団や武官団と常日頃から情報共有を行い、クウェート関連情報を収集することも重要な仕事です。

情報本部での勤務を通じて得られた知識や経験は、現職においても大いに役立っています。また、大使館での勤務は、日本の外交政策がどのように進められているか、他国との関係強化に向けてどのように物事を動かしていくか等を学べる貴重な機会となっています。



クウェート南部のビーチ



クウェート中心部にあるスーク(市場)

語学系 | 平成29年入省 | 女性

ある技術職の一日

「このストーリーは、情報本部に勤務する複数の技術系職員及びに凝縮して書き起こしたセミ・フィクションです。」

技術系 (大卒者) 平成26年入省 男性

課業開始。計算エラーの原因追及の前にメール確認と今日の予定の再確認。今日は解析、研究の中間報告、最新の通信技術に関する調査研究の契約企業との調整会議と普段より予定が詰まっている。時間のかかりそうな計算エラーの原因追及の前に、解析の方向性を見定めるためにも少し電波信号解析をしておいた方が良さそうだ。

前期から始めた研究の進捗状況を上司に報告。先行研究よりも優れた結果を出せており、まずまずの成果だ。上司や同席していた同僚からいくつか想定外の鋭い質問をされるが、その場で回答。更に議論を行っていくうちに、新たな研究の方向性が見えてきた。こういった議論はいつの間にか時間が経つもので、今回も正午を知らせるラッパの音で、中間報告はお開きとなった。

午後最初の仕事は最新の通信技術に関する調査研究の契約企業との調整会議。契約企業の技術者から進捗状況の報告を聞く限り、順調に調査は進んでいる様子。今年の調査研究の官側主担当者は後輩Bだが、最近、契約企業の技術者との議論のコツをつかんできたようだ。調査が順調に進んでいることもあり、会議が予定よりも早く終わった。これで、ようやく計算エラーの原因追及に専念できる。

後輩Aに解析結果のまとめを依頼し、計算エラーの原因追及を開始。ログを見るとサンプル数が一定以上になると、計算途中でメモリ使用量が急増し、その結果、メモリ不足となったのがエラーの原因だった。計算実行前にスモールケースでプログラムの動作を検証していたが、検証の範囲外でエラーが起きていたようだ。メモリを大量消費する箇所を修正し、修正プログラムの検証を開始。修正プログラムでは、以前のプログラムではメモリ不足となっていたサンプル数においても問題なく計算できることを確認。念のため、更にサンプル数を増やした場合も検証し、問題がないことを確認。ここで、ようやく本命の計算を開始させた。



8:15 昨日退庁時に開始させた計算の結果を期待しながら、執務室に到着。上司や同僚に挨拶しつつ、自分のデスクへ行き、PCを起動。PCの画面を見るとエラーにより計算がストップしていることに気が付く。ひとまず、コーヒーを淹れて、気分をリフレッシュするか。淹れたてのコーヒーを飲みつつ、今日は残業することになるかもしれないと予定していたスケジュールを頭の中で組みなおし始める。

8:40 というわけで、通信所からの解析を開始し進めていくうちに、過去に解析した信号と同一の特徴が存在することが確認できた。ここまで判明したなら、あとは問題ないだろう。想定される残りの解析も難しくないし、今年入ってきた後輩Aの教育にちょうど良い教材かもしれない。後輩Aのデスク行き、簡単にまとめた解析結果を説明し、残りの解析を任せることにした。

12:00 昼食の時間であるが、最近はダイエットのためにまとめ買いたしたサラダチキンと豆腐で昼食にしている。厚生棟で弁当も売られているが、毎回ついボリューム満点の弁当を購入してしまい体重が単調増加の傾向にあるのだ。タンパク質な食事の後、2週間前に海外のサイトから購入した一向に届かない趣味の技術書の配送状況が気になり、携帯電話で確認するためにオフィスの外へ。どうやらようやく発送元の国での手続きが終わったらしい。これで一安心。

14:00 執務室に戻り計算エラーの原因追及をしようとした矢先、信号解析を任せ後輩Aから解析がうまく進まないとの報告を受ける。後輩Aから順を追って説明を受けたが、自分の想定とは異なっている。どうやら過去の信号の一部が変化した信号のようだ。後輩Aと一緒に考えながら解析を進め、妥当な解析結果を得ることが出来た。後輩Aには成功経験を体験させ、自分は先輩職員としての面目を保つことが出来た。

16:30 午前中の研究の中間報告の際に議論した新たな研究の方向性を整理し、関連しそうな論文をネット検索。似たような研究はあまり見当たらない。もしかしたら、新しいアイデアかもしれない。とりあえず、関連しそうな論文を印刷しておこう。

17:15 計算の途中経過を確認。修正プログラムは今のところ問題なく動いている。達成感を感じながら執務室を後にする。当初は残業かと思っていたものの、意外にも定時でオフィスを出ることが出来た。今日は金曜日だし、少し早いが行きつけのバーでゆっくり飲むことにしよう。

ある分析官の一日

分析官(アナリスト)の業務体験を踏まえ、生起しうる事象を一日

語学系 平成26年入省 男性

今日は週1回のミーティングがある日だ。分析部の執務室に着いたら、最新のニュースをざっと確認し、ミーティングルームへ移動。ちなみに私はフレックスタイム制を利用しているので、所定の勤務時間は、通常より1時間前倒しの07:30-16:15だ。



執務室に戻りメールを開くと、ミサイルの件の高官ブリーフィングの作成に関する資料提供依頼が。たたき台となる既存資料の提供を依頼されているが、適当なものがないので、まずはその旨連絡した後、大急ぎで資料を作成し、送付。



月に1回の部長による、業務優秀者の表彰式。先月の幹部報告が好評を博し、受賞。3か月かけて作った甲斐があった。



配属1年目の若手が作成したプロダクトを審査。○年前の自分を思い出し、出来るだけ丁寧に見たいところ。訳文はOK。述語や体裁は少し直したけれど、プロダクト作成に慣れてきたのか、修正箇所は着実に減っている。

今朝のミーティングを踏まえ、新たに作成することになった幹部報告の方向性について、上司と相談。作成中のプロダクトを示しつつ、担当としての問題意識を説明したところ、情報カスタマーのニーズに精通している課長から、盛り込むべき論点について示唆あり。まずは作成中のプロダクトを完成させ、初期的な評価を示した上で、より包括的なものとなる報告の骨子を別に作成し、課内で検討することに。



7:45 R国によるU国の侵略が始まってから、もう2年になる。今日のミーティングでは、R国によるU国への攻撃にN国製弾道ミサイルが使用されたとの公開情報について、各部の持っている最新情報を突き合わせ、幹部への報告内容をまとめた。ミーティングを主宰する情報官は、このテーマへの幹部の関心の高さから、プロダクトの作成に際し、各部が普段以上に連携して進めるよう指示した。

11:00 少し落ち着いたところで、大学院修士課程に行っている同僚がやって来た。お互いに情報交換をする。情報本部の良いところの一つは、大学院などにも行くことができることだ。入学先は東京圏が多いが、研究テーマの関係で札幌に行った同僚もいた。



12:00 普段は弁当を持参するが、今日は作ってやる時間がなかったため、気分転換も兼ねて近くのそば屋へ。

14:00 自分のプロダクト作成に着手。公開されている数年分の年次報告書を探し出して読み、グラフを作るのに一苦労。



17:15 1時間残業し、退庁。今から帰れば、家で待っている犬の散歩をする余裕はありそうだ。



若手職員アンケート

採用1年目の職員に聞きました!

語学系

技術
(大卒程度)

事務・技術
(高卒者)

Q 役に立った試験対策があれば教えてください。

- A ひたすら過去問を解き、解けなかった問題を復習し、解けるようになるまで繰り返す。
- A 論文試験は試験対策本をバラバラ見て文の構成をおさえるだけでも高得点が狙える。
- A 過去問から出題傾向を把握して、解くべき問題を見極める練習が大切だと思いました。
- A 防衛白書の日本語版と外国語版に目を通す。NHKの日本語の記事と、NHK WORLDの外国語の記事とを見比べる。
- A その年の主要な出来事の英字報道と関連する用語がまとめられた本を使って、時事を英語でインプットする。
- A 早めに過去問を取り寄せ、出題傾向を把握したうえで試験対策を行う。英語は大学入試の2次試験の問題集を使って勉強した。

Q 内定後から採用までにやっておいて良かったことを教えてください。

- A パソコンの基本操作、英語orITパスポート等の勉強!今の自由な時間を楽しむ!!
- A 英語の勉強。業務で英語原文のドキュメントや論文を参照することが多い。
- A 学生生活に悔いを残さないようにしたこと。友人と時間を気にせず遊べることは貴重だったと感じます。
- A 外国語のニュースを見て、時事用語や軍事用語に触れておいたこと。
- A 旅行や友人と遊ぶなど、時間に余裕があるときにしか出来ないことを行う。
- A 日々新聞を読んだり、ニュースを見ることで、日本や世界で何が起きているかを把握すること。

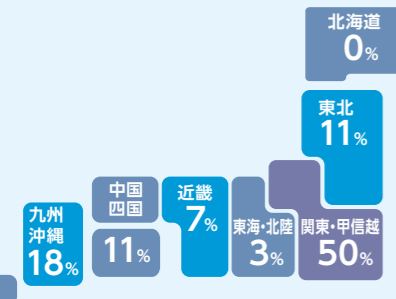
Q 採用前後で感じたギャップがあれば教えてください。

- A 想像していたよりも自衛官の方が優しく、相談や面倒を見てもらえること。
- A 激務と聞いていたが、入省当初から手厚く面倒を見ていただけなので、安心した。
- A 事務官、技官、自衛官、他省庁からの出向など構成員が多様で面白い。
- A 採用前は暗く孤独な職場を想像していたが、採用後は明るく助け合って業務にあたる職場という印象を受けた。
- A 1年目から「専門家」として発言する機会があること。
- A 思っていたより執務室の雰囲気明るくて驚きました。
- A 想像していたよりも和気あいあいとした職場であると感じました。
- A 特段規律が厳しいというわけではなく、社会人としての一般常識があれば問題ない。

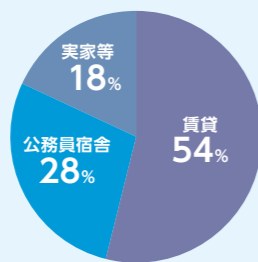
Q 情報本部を選んで良かったことを教えてください。

- A 情報本部は残業が少なくフレックスを利用できるため仕事のON・OFFが切り替えられ、過ごしやすいです。
- A 転勤が少なく、人生設計がしやすいこと。入省後、省内外で教育を受ける機会があり、スキルを磨けること。
- A 各種研修や上司・先輩職員によるサポートが充実しており、専門性の高い業務を安心して習得できる点。
- A 自身の強みを生かしながら日本の安全保障に貢献することができる点。専門性を高めることができる点。
- A 様々な経歴や得意な言語を持った人がいるので、知的好奇心が刺激される。
- A 職場の雰囲気が良い。先輩方が優しい。教育が充実している。
- A 自分が大学で学んだ知識や経験を業務に生かせること。

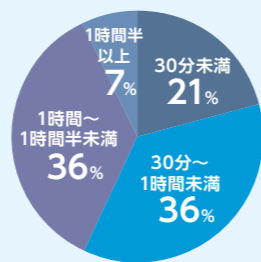
■出身地はどこですか?



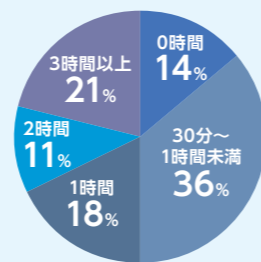
■住居の形態は?



■通勤(片道)にかかる時間は?



■月の残業時間は?



QUIZ
Q 月の残業時間が1時間未満の割合は?
A [?] % [?] = は

Work & Life Balance

ワークライフバランスを支える制度

全ての職員が働きやすい職場となるように、

育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、

職員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を推進しています。

休暇



年次休暇(20日/年)

※4月1日採用の場合、採用の年は15日。
残日数は20日を限度に翌年に繰越

特別休暇

年末年始(6日) / 夏季(3日)
結婚・忌引き

GW、夏季、年末年始は、取得時期をずらす等の工夫をしつつ、10日以上休暇が取れるように取り組んでいます!

出産

に関する休暇



- 産前・産後休暇 ■配偶者の出産特別休暇
- 育児参加のための特別休暇
- 妊産婦の保健指導・健康診断のための特別休暇
- 休息・補食のための特別休暇
- 通勤緩和のための特別休暇
- 出生サポート(不妊治療に係る通院等)のための特別休暇

育児

に関する休暇



- 育児休業
- 保育時間確保のための特別休暇
- 子の看護のための特別休暇

※令和4年度中に子が生まれた男性職員の育児休業取得率(国家公務員全体:43.9%)

男性職員の取得率※
63.6%

その他の制度



- 介護休暇 ■配偶者同行休業
- フレックスタイム制
- テレワーク育児時間
- 育児短時間勤務
- 早出遅出勤務 ■超過勤務の制限等

上記は一例です。
制度の概要等、詳しくはコチラをチェック



QUIZ
Q 男性職員の育児休業の取得率は?
A [?] .6% [?] = め



Q & A 採用担当がお答えします！

防衛省専門職員採用試験

Q どれくらいの語学力が必要とされますか。

A 専門職員には、語学力を駆使し、各言語で発信される様々な情報を収集し、日本語でまとめる能力や、各国のカウンターパートとの交流における渉外・通訳業務を行う能力が求められていくこととなります。採用試験に合格するだけの語学力があれば、入省後の語学研修や業務経験を通じ、語学力を向上させていくことができます。

Q 採用言語以外の言語を活用することはできますか。

A 情報本部では、例えば、試験区分「英語」で採用されても、その他の言語の語学力も活かして活躍している職員が少なからずいるなど、語学力を発揮できる舞台が広がっています。情報本部であなたの語学力をいかに活用してください。

Q 分析業務を専門的に行うことができますか。

A 情報本部で行う業務において、分析業務は柱となる業務ですが、そのほかにも、渉外、調整、企画、行政等に関する業務があり、専門職員もこれらの業務を経験することがあります。また、省内の他機関、他省庁等においても、同様の業務を経験することがあります。こうした多様な経験を積むことで、カスタマー目線を養い、俯瞰的視野を持つ情報のプロフェッショナルとなることが期待されています。

Q 学歴、新卒・既卒、年齢等は採用の選考基準となりますか。

A 情報本部で採用された専門職員の経歴は、専攻、学歴、職歴の何においても多種多様であり、20代後半で採用されている人も少なからずいるほか、理系出身者もいます。経歴や年齢に関わらず、情報本部の業務に関心を持つ方は、是非積極的に受験してください。

Q 分析能力を身につけるための教育・研修はありますか。

A 1年目における素養教育に始まり、分析官を育成するため、段階的な教育・研修プログラムが用意されています。また、OJTとして上司先輩職員の指導を受けつつ実践的に分析能力を高めることができます。

Q 留学や在外公館勤務の要員はどのように選抜されるのですか。

A 官民の多くの組織も同様だと思いますが、業務遂行能力、勤務ぶり、語学力、将来性等を総合的に勘案して選抜しています。情報本部では、留学や在外公館以外にも、省内の他機関、他省庁、海外における勤務や研修を通じ、活躍し、視野を広げる機会があります。

Q 主な勤務地はどこですか。転勤の可能性はありますか。

A 市ヶ谷をベースに勤務し、他機関、他省庁で勤務する場合も勤務地は基本的に東京都内となります。このほか、海外で勤務する機会もありますが、国内で転居を伴う異動を求められる可能性は基本的にはありませんので、ライフプランが立てやすい環境で勤務することができます。

Q 過去の試験問題は入手できますか。

A 情報公開制度に基づき請求することができます。ただし、お手元に届くまでに2か月程度かかりますのでご注意ください。なお、論文試験問題は防衛省ホームページにおいて公表しています。

国家一般職試験（高卒者）

Q 採用時の勤務地はどこですか？

A 高卒者試験については、事務系・技術系ともにブロック採用となるため、受験される試験区分によりです。

【事務関東甲信越】の場合は、主に市ヶ谷地区での勤務となりますが、関東甲信越地区にある通信所(大井(埼玉県)又は小舟渡(新潟県))勤務の場合もあります。

【技術関東甲信越】の場合は、採用後に従事する業務により、市ヶ谷勤務又は大井通信所勤務となります。大井通信所勤務の場合、以後は、主に全国6か所(北海道、新潟、埼玉、鳥取、福岡、鹿児島)に所在する通信所で勤務します。

Q 技術系からの採用(大井通信所採用)者が本部(市ヶ谷)で勤務することはありますか？

A 現場(通信所)での経験を積んだのち、職域拡大のために本部(市ヶ谷)の各部で勤務することがあります。

Q 事務系職員で採用された場合、どのような仕事を行いますか？

A 主に本部(市ヶ谷)の各部において勤務し、情報本部職員の人事、給与、行政文書管理、情報公開、会計、物品の取得・管理、庶務等の業務に従事又は画像解析等業務に従事します。

国家一般職試験（大卒程度）

Q 採用者における既卒者の割合はどのくらいですか？

A 昨年度の採用実績でみると技術系職員に占める既卒者の割合は、約40%となっています。また行政系職員では約38%となっており、どちらもほぼ同じ割合となっています。なお、情報本部では人物本位の採用を行っているため、新卒・既卒等は一切関係ありません。

Q 主な配置はどこですか？また、どのように決定されますか？

A 技術系は主に本部(市ヶ谷)において、電波業務、画像解析業務、分析業務に従事することになります。また初配置は官庁訪問・採用面接を通じて、本人の希望及び適性を考慮して決定されます。行政系は、主に本部(市ヶ谷)において、人事、会計、行政文書管理、物品の管理等の管理業務に従事します。その他、どちらも内部部局や防衛装備庁など防衛省内の他機関への人事交流の機会もあります。

Q 技術系で行政職と研究職はどのように決定されますか？

A 官庁訪問 採用面接等において、希望をお聞きします。本人の希望・適性を考慮したうえで決定されます。

Q 情報本部ではサイバーの知識などは必要とされますか？

A 近年のサイバー・ITなどの技術の進展は著しく、情報本部においても、サイバーやIT、プログラミングなどの知識を有する人材を強く求めています。

未来のために
みなさんの力が必要です。



各試験共通

Q 採用実績を教えてください

A 最終ページに過去5年間における各試験毎の採用予定者数を掲載していますので、参考としてください。

Q 私生活上の制限はありますか？

A 特段私生活に対する制限はありません。私的な海外渡航についても、外務省の海外安全ホームページで渡航先に関する危険情報の有無を確認するなどした上で事前申請等の所定の手続を行うことにより、原則として認められます。なお、職務内容をみだりに漏洩する等、国や国民に損失を与えることがないよう公務員としての倫理が求められるのは一般の公務員と同様です。

Q 食事ができる場所はありますか？

A 市ヶ谷地区においては、定食、丼物、麺類等を取りそろえたフードコートがあります。昼時に販売される日替わり弁当も種類が豊富で人気です。朝7時から営業しているコーヒーショップや24時間営業のコンビニエンスストアもあるのでとても便利です。

Q 職場での服装や髪色、ネイルなどについて規定はありますか？

A 自衛官の服装が規則で厳しく定められているのに対し、事務官等の服装に関する明文化された規定はありません。ただし、防衛省職員としての規律と品位を保つように努めなければならないという点では自衛官も事務官等と同じです。

Q 残業や休日勤務はありますか？

A 情報本部は、我が国の安全保障に関わるあらゆる事象を分析し、カスタマーのニーズに応じた情報プロダクトをタイムリーに提供することを任務としていますので、状況によっては課業時間外であっても対応が求められる場合があります。情報業務に携わる者の宿命ではありますが、超過勤務手当や代休取得に関する制度が設けられていますので、オンとオフをうまく切り替えてプライベートを充実させることができます。

Q 女性職員の活躍状況を教えてください。

A 情報本部で勤務する事務官等の約3割が女性(P8・9参照)で、組織の中核的な存在として幅広く活躍しています。もちろん、育児をしながら活躍している女性も大勢います。防衛省では、女性活躍に向け全省的な取り組みが進められていますのでご安心ください。※男性職員の配偶者出産・育児休暇制度も積極的に推奨しています。

Q 説明会や官庁訪問の情報について教えてください。

A 開催日程等については、防衛省の採用ホームページでお知らせしています。興味のある方は、是非アクセスしてください。

みなさんと共に働ける日を
楽しみにしています！



処遇関係

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下表は、新規卒業者で市ヶ谷地区に勤務した場合の一例です。なお、各試験区分において基準となる学歴(高卒、大卒)以降の経歴は、経験年数として換算し、初任給に反映されます。

| | | | |
|----------------------|---------------------|------------------|----------------------|
| 防衛省専門職員 一般職(大卒程度) | 行政職俸給表(一) 研究職俸給表 | 1級25号俸 1級25号俸 | 235,440円 242,040円 |
| 一般職(高卒者) | 行政職俸給表(一) | 1級5号俸 | 199,920円 |

各種手当

- 扶養手当 …… 扶養親族のある者に、配偶者月額6,500円等
- 住居手当 …… 借家居住者等に、月額最高 28,000円
- 通勤手当 …… 交通機関等利用者に、1か月最高55,000円
- その他 …… 超過勤務手当、地域に応じた各種手当等
- 期末・勤勉手当 …… 1年間に俸給などの4.5か月分
(いわゆるボーナス)

勤務時間・休暇等

- 勤務時間 …… 勤務時間は1日7時間45分
原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休2日制になります。
- 休暇 …… 各種制度: 年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日。
残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(年末年始・夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。
- 各種制度 …… フレックスタイム制、育児休業、配偶者同行休業等があります。

福利厚生

- 共済組合 …… 健康保険や年金などの事業のほか、貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。
- 福利厚生施設 …… 共済組合直営の宿泊・婚礼施設や外部委託契約による民間保養施設等を割引金額にて利用できます。
- 医療施設 …… 防衛省には独自の病院(自衛隊病院)が全国各地にある他、各職場には医療施設(医務室)が設けられており、職場内で病気等の治療を受けることができます。
- フードコート・売店等施設 …… 職場にはフードコートや売店などが設けられており、食事や生活必需品を購入することができます。



共済組合



福利厚生施設
(グランドヒル市ヶ谷)



医療施設
(自衛隊中央病院 <世田谷区>)



フードコート

QUIZ

Q ボーナスは俸給などの何ヵ月分?
A [?] .5ヵ月分 [?] = お

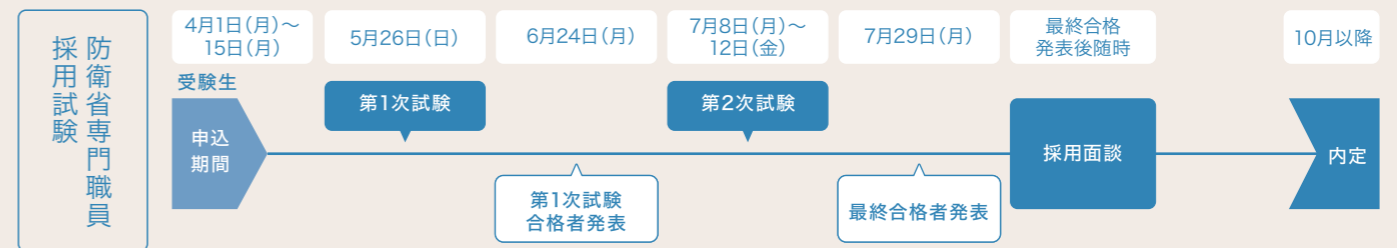
採用情報

採用実績 ※()内の数字は各年度における採用予定者数を示しています。

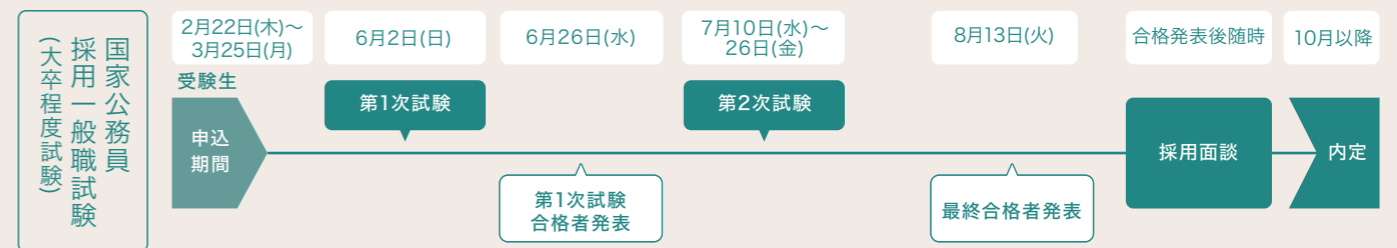
| 試験区分 | 試験年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------------|--------|-----------------|-----------------|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 防衛省専門職員採用試験 | | 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語 | 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語 | 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語 | 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、ペルシャ語、フランス語 | 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、フランス語 |
| 国家公務員採用一般職試験 | 大卒程度試験 | 電気・電子・情報(5) | 電気・電子・情報(9) | 行政(3) 電気・電子・情報(13) 土木(2) | デジタル・電気・電子(10) 土木(2) | デジタル・電気・電子(17) 機械(4) |
| | 高卒者試験 | 技術(15) | 事務(2)、技術(16) | 事務(17)、技術(19) | 事務(11)、技術(13) | 事務(28)、技術(24) |
| 国家公務員採用総合職試験 | 大卒程度試験 | | | | 工学(1) | |

※防衛省専門職員採用試験においては、毎年度、各言語より若干名の採用となっています。

採用試験スケジュール



※2023年度の採用面接は、最終合格発表日の翌日より実施
※防衛省専門職員採用試験の詳細な日程等については、必ず防衛省ホームページ(採用情報)で最新の情報をご確認ください。



※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。



※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

採用試験の詳細情報及び受験案内等請求先

■ 防衛省専門職員採用試験

防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。

■ 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験・高卒者試験)

人事院のウェブサイト「国家公務員試験採用情報 NAVI」又は防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。

